



令和7年度 学校だより

つなぐ

翠輝学園 つくば市立
みどりの南小学校
第55号
発行日 R8.3.9

命の大切さを知り、生き方を考える

5年生 生教育講演会

2月26日(木)3校時、多目的室2で、5年生の生教育講演会「いのちの誕生とその大切さ ～自分らしく生きる～」が行われました。昨年に続き、講師は龍ヶ崎済生会病院の陳 央仁(ちん おうじん)先生。生命の誕生に関する性教育だけでなく、障害のある子(ケニーやアシュリー)の生き方なども紹介しながら、命の大切さ、人は愛されるために生まれてきたこと、自分らしく生きること等、子供たちに熱く語っていただきました。以下の感想にあるように、子供たち一人一人、深く考える機会となったと思います。ご多用中、ご参加いただいた保護者の皆様に感謝申し上げます。



まとめ:自分らしく生きるために

- ・ナンバーワン(一番)よりも (特別)
- ・自分の持ちよう(長所・短所)を知る
- ・10年後の自分を想像する
- ・進んで助け合う
- ・いのちに感じやすくなる

産んでくれて



- ・一番心に残ったことは、生命の誕生は総理大臣になるより難しいということです。命を今まで以上に大切にしようと思いました。
- ・一番心に残ったことは、受精卵ができる確率が宝くじで10億円を当てるくらいだったことです。これを聞いて、改めて自分が生まれてこれたのは奇跡なんだな、と思いました。これからも家族に産んでくれてありがとうという感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。
- ・これからは、誕生日に僕が祝ってもらうのではなく、苦しい中、僕を産んでくれた母のことを感謝の言葉で祝いたいです。
- ・母親が命をかけて産んでくれたことが分かりました。これからは、親が必死に産んでくれたから、これからもこの命を大切にしていきたいです。
- ・家に帰って講演会のことを話し、お母さんに「産んでくれてありがとう」と言うと、びっくりしていました。
- ・アシュリーの自分らしさのところで「私は早期老化症にならなければと思ったことはない。自分らしさはステキ」とあって、アシュリーはととても前向きでステキだと思いました。私もアシュリーのように自分のことをもっと大切にしていきたいです。
- ・僕はこの授業の前には正直、あまり自分のことが好きではなかったです。しかし、先生の授業を受けてから、僕は病気もないし、体も全部あるのに、いいわけをしたり、できなかったらあきらめたりしていましたが、今度からはあの子たちみたいに、生きる力を強くしたいです。先生のおかげで、世界をちがう目で見えるようになりました。強い心で、授業や人生に生かしていきたいです。
- ・「神様が人をつくったのには理由がある」という言葉が良かったと思いました。
- ・「できることをできる範囲であきらめないで」が心に残りました。
- ・「自分をもっと好きになる」というのを聞いて、自分のいいところ(長所)を見つけ、そのいいところをどんどん伸ばしていきたいなと思いました。
- ・一番心に残ったことは、人はみんな愛されるために生まれた、ということです。(中略)私はたくさんの愛で生まれてこれた。だから今度は私が、たくさんの愛をみんなにあげたいと思いました。そして私らしく、将来何をしようかな、何になろうかな、と幸せに生きていきたいです。そして「産んでくれてありがとう」と当たり前と言えるようになります。



みなみ 掲示板

【通学路の道路が「車両通行止め」になります ～歩行者は通行可～】

3月5日(木)、市道路整備課より4月中旬から9月下旬まで、登下校に利用する道路(西栗山:地図参照)の改良舗装工事に伴い、車両が通行止めとなります。(詳細はスクリーン3/6参照)子供たちは、工事中も歩くスペースが確保されるため、通行可とのことです。

以前から通学路の安全点検の際、側溝にふたがなかったり、道路脇に用水路があったりと、危険箇所として指摘されていた地点。整備されることはありがたいことです。子供たちの安全のため、ご理解ご協力をお願いいたします。

